

# 鳥海の自然を学ぶ

## —Walking Study in Chokai—

DATA

場所：秋田県由利郡鳥海町 鳥海ダム予定地および周辺  
 実施者：鳥海ダム調査事務所 地域づくり相談室 [TEL (0184) 23-5120]  
 参加者：本荘市立小友小学校・鳥海町立直根小学校の5、6年生 77人、先生 6人  
 実施日：平成12年9月22日※例年9月中～下旬に実施(平成8年から毎年実施)  
 学習時間：3時間程度

関係する分野



背景

子吉川の上流・下流の児童たちが一緒になって、鳥海ダム予定地及びその周辺を歩きながら、動植物や地形、河川など郷土の自然を体験学習するウォーキングスタディを実施しました。

子どもたちが、自分たちを取り囲む環境や自然について理解を深め、また上下流の児童たちの交流を図ることと合わせて、河川やダムの役割、並びに公共事業の重要性を知ってもらうための機会となります。

内容

鳥海ダム調査事務所では、ダム建設予定地の子吉川上流にある鳥海町および子吉川下流の本荘市の小学生児童が参加して、鳥海ダム予定地およびその周辺を歩きながら、地元の自然を体験学習するウォーキングスタディを実施しました。

児童たちは、講師の方の説明を聞きながら植物や昆虫の観察をしたほか、鳥海山の噴火とその地形の成り立ち、河川・ダムの役割などについて学習しました。

成果

郷土の自然、川やダムの役割について、楽しみながら理解してもらうことができました。また、ウォーキングやゲームを通じて、異なる小学校の児童間の交流を図ることができ、総合教育へ支援ができたと考えています。実施後、児童たちにかいてもらった感想文からは、楽しかった様子や理解できた様子が伝わってきます。

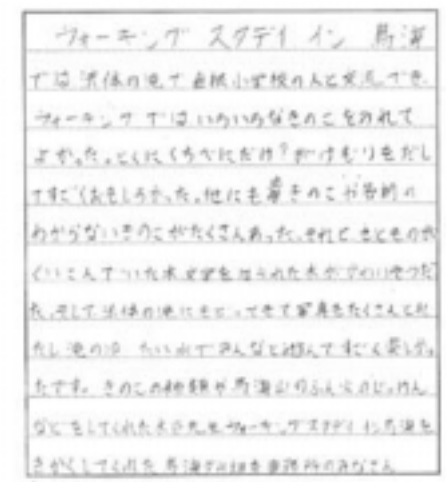
参加者の声

「特に私が心に残ったのは、木にほられた文字でした。それも1本だけではなく、数本の木にほられていたというのが、とても残念でした。とても痛々しくて、木谷先生がほっていた人の体も同じようにほってやりたいという気持ちもよくわかりました。他にも、草木の事、花の事、川の事、いろんな事がよくわかりました。」

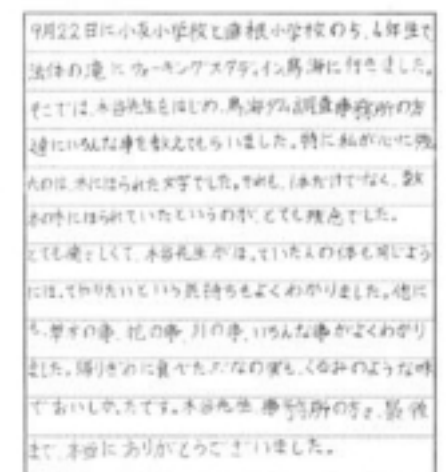
(本荘市立小友小学校 6年生)

「法体の滝で直根小学校の人と交流でき、ウォーキングではいろいろなきのこをみれてよかった。とくにくちべにだけ(?)がけむりをだしてすごくおもしろかった。他にも毒きのこや名前のわからないきのこがたくさんあった。写真もたくさんとれたし、滝の冷たい水でみんなと遊んですごく楽しかったです。」

(本荘市立小友小学校 6年生)



参加した児童から送られた手紙



鳥海山の噴火実験“地形の成り立ち”



全員で記念撮影



講師の説明で観察をする児童達



講師の説明を熱心に聞く児童達

ポイント

- 郷土の自然に直接触れながら体験学習することで、自然への理解度を高めました。また、講師を元本荘北中学校長で河川生物や河川愛護に造形の深い木谷豊四先生にお願いすることで、学習効果の向上を図りました。
- 河川やダムの役割や自然との調和についても学びます。
- 河川でつながった、上下流の児童が一緒になって学習し、交流の促進を図るきっかけとなりました。



次のステップに向けて

- 鳥海ダムの役割や必要性とともに、自然や環境とのかかわりなど、さらに詳しく学習することが考えられます。(ダム建設予定地周辺に生息する野生動物について等)